

短期留学で 感じたこと

鏡野中学校 3年 濱田青空

短期留学で感じたことが三つあります。一つ目は、自分の英語力の低さです。オーストラリアで小学生たちなどと関わる時、自分の英語力について学ぶことができました。英語を話すことは、ジェスチャーなどで伝えることができるためあまり困りませんでした。一番困ったことは、何と言われたかが聞き取れないということです。聞き取れないということは、会話が続かないということになります。だから、もっと聞きとる力をあげたいと思いました。

二つ目は、日本の教育と全く違うということです。日本では、みんなが席について先生が前で授業をするというのが一般的です。でも、イマニュエル小学校は、先生がまず課題について短時間で説明します。その時、子どもたちは床に先生を囲むように座っています。その後、各自の課題をみんなで協力しながら解決し、学びを深めていきます。また、音楽の授業は、ダンス・演劇・楽器などいくつかのコースに分かれていて、自分の興味のあるものを選ぶことができました。このように、日本の学校と違う部分があり、面白いと思いました。

三つ目は、小学生たちの日本への思いです。私は、初日から感動していました。なぜかという、ほとんどの子どもたちが、日本語であいさつしてくれたからです。笑顔で手を振ってくれたりもしました。日本語教室へも行きました。みんながどんなことを勉強しているのか気になっていたのですが、入ってびっくりしまし

た。教室全体に、日本語で書かれたプリントがたくさん貼られていました。また、2人の子どもが『剣玉』と『空手』を披露してくれました。この日のために、一生懸命に練習してくれたと思うと、とてもうれしかったです。

私が最も感動したことは、みんなが日本語を学ぼうとしてくれていたり、私たちが話す日本語を理解しようとしてくれたことです。毎週金曜日に行われている礼拝に参加したとき、ある子どもが日本語で私たち一人一人の名前を呼び、「私たちと過ごす時間が、幸せで安全であるよう祈ります」と言ってくれました。涙が出るほど嬉しかったのと同時に、自分に腹が立ちました。あの難しい文章を日本語で言うとなると、かなり練習が必要だったと思います。私たちのために小学生が頑張ってくれたのに、英語でこれくらい言えたら、このくらい覚えていたら気持ちいを伝えられるのにと、ひどく後悔しました。

イマニュエル小学校の子どもたちは、本当に日本を大好きな人が多いと感じました。また、日本人の私たちよりも日本を知っている子どももいました。私は、日本人でありながら、日本についての知識や、考えが浅かったということを感じました。小学校以外にも、さまざまな場所に行き、日本では考えることのなかった日本について考えることができたり、日本について新しい発見をすることができました。オーストラリアで感じたこと、学んだことを深く考え、今後の学びへと生かしていきたいと思っています。



ホストファミリーとお出かけ (左端が濱田さん)

スタート

大宮小学校 6年 武内詩菜

初めての海外だったけど、行く前の私は、それほど緊張していなかったと思います。なぜなら、緊張より楽しみという気持ちの方が勝っていたからです。私は英語であまり話せないけど、会話をしないということは絶対にしなかったです。英語が分からなかったり、英語で会話をすることに疲れたり、たくさんの方がありました。でも、相手の言っていることを理解しようと頑張りました。それでも、ホームステイ先の三女(エリー・5歳)は英語をべらしゃべるので、何を言っているのか分からないことがありました。だから、もしまたオーストラリアに行けるなら、エリーと英語でたくさん話すことが目標です。あと、私が参加したクラス(5-E)のみんなや、ホストファミリーのコリンズさん一家が優しく話してくれたので、恩返ししたいです。オーストラリアに行けてよかったと思えるのも、5-Eのみんなやコリンズさんのおかげです。私も相手が誰であろうと優しく接することができるようになりたいです。

驚いたり、うれしかったり、いろいろとあったけど、全部は書けないので、うれしかったことを紹介したいと思います。イマニュエル小学校に着いて、みんなでサッカーをしました。私は、小さい頃からサッカーをしていて、サッカーが好きです。でも、女子でサッカーが好きな人は、あまり学校にいないので、男子とだけしかサッカーをしないけれど、あちらの学校の人たちは、女子でもサッカーを楽しんでくれる人が

いて、うれしかったです。あと、アイスクリーム、バーベキュー、ピザ、ポテトなど、食べ物は全部おいしかったです。ホームステイ先のお父さんもお母さんもとても明るい人で、オーストラリアの滞在をととても楽しむことができました。でも、それと同時に別れがすごくつらくて、悲しかったです。英語で感謝の言葉を伝えられたら良かったのにと後悔しています。帰国の日、空港でコリンズさん一家と分かれた後、キラという友だちのお母さん(日本人)に会い、話を聞きました。キラのお母さんは、14年前からオーストラリアに住んでいるそうですが、最初は英語が全く分からなくて、英語が使えるようになるまでには、3年かかったそうです。英語でコミュニケーションを図るには、日本語で考える力も大事であること、また英語だけ使えてもだめで、何らかのスキルがないと外国では通用しないなどの貴重な話を聞くことができました。

この短期留学のおかげで、以前より英語が分かるようになったし、何より私の英語への取り組み方も変わってきました。英語を覚えてもそれがゴールじゃない。自分が必要と考えるスキルを磨いたり、私がこれからはなくてはならないことは星の数ほどあります。私はそれに気付くことができました。ならば、やるしかないと思います。だから、オーストラリア短期留学をスタートとして、また5-Eのクラスのみんなや、コリンズさん一家に会えるまで頑張ります。

もうスタートは切っています。



ホストファミリーの子どもたちとハイチーズ!

